

市長公約関連事業の実施状況について(令和7年10月末現在)

「事業区分」について
 ・「新規事業」⇒市長就任以降、新たに取り組む事業
 ・「継続事業」⇒市長就任前から継続する事業(拡充した事業を含む。)

項目			事業数及び実施状況(括弧内は新規事業・継続事業の別)		
			◎事業化済(完了含む)	○事業化へ向けて検討中 (事業化の可否について検討中も含む。)	計
公約Ⅰ:「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ					
I	(1)	先輩世代と共に創る「いくつになっても・いきいきと活躍できる盛岡」	4	4	8
I	(2)	現役世代と共に創る「どこよりも子育てしやすい、暮らしたいまち盛岡」	2	2	4
I	(3)	未来世代と共に創る「すべての子供たちひとりに、等しく寄り添うまち盛岡」	10	0	10
I	(4)	私たち盛岡市民で共につくる	10	4	14
小計			26(新規9、継続17)	10(新規7、継続3)	36(新規16、継続20)
公約Ⅱ:「より強い」地元経済が元気なまちへ					
Ⅱ	(1)	地元商店・地元企業の徹底的支援、雇用の場を創る	27	3	30
Ⅱ	(2)	盛岡ブランドを世界に発信し外貨獲得	4	4	8
Ⅱ	(3)	民間主導の公民連携を推進	3	0	3
Ⅱ	(4)	持続可能なまち創りを推進	11	2	13
小計			45(新規13、継続32)	9(新規7、継続2)	54(新規20、継続34)
公約Ⅲ:盛岡の各地域の歴史や特色を守りつなぐ					
Ⅲ	-	盛岡の各地域の歴史や特色を守りつなぐ>ネットワークシティの実現	4	1	5
小計			4(新規1、継続3)	1(新規1)	5(新規2、継続3)
合計			75(新規23、継続52)	20(新規15、継続5)	95(新規38、継続57)

公約Ⅰ：「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ

「事業区分」について

- ・「新規」⇒市長就任以降、新たに取り組む事業
- ・「継続」⇒市長就任前から継続する事業（拡充した事業を含む。）

「実施状況」について

- ◎・・・事業化済（完了含む）
- ・・・事業化へ向けて検討中
- △・・・未着手

具体の政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
1 「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ				
(1) 先輩世代と共に創る「いくつになっても・いきいきと活躍できる盛岡」				
車がなくても安心、巡回ミニバス・乗合タクシー（AIオンデマンドタクシー）				
1	巡回ミニバス（コミュニティバス）事業（AIオンデマンドタクシーの導入）	公共交通空白地区などにおいて、乗合タクシー（AIオンデマンドタクシー）を導入する。	新規	○
高齢者対象、バス1日100円パス				
2	路線バス1日100円パス事業（市内全域1日100円）	市内に居住する満70歳以上の高齢者を対象に、路線バスを市内全域1日100円で何度でも利用できるパスを交付する。	新規	○
高齢者戸別訪問ごみ収集				
3	ごみ出しサポート事業（高齢者等戸別収集）	高齢や体が不自由なことにより、自らごみを集積場所まで持って行くことが困難な世帯を対象に、週1回、玄関先まで伺いごみを収集する。	継続	○
在宅医療介護の充実				
4	在宅医療提供体制推進事業	・庁内に部局横断的な在宅医療プロジェクトチームを設置する。 ・多職種が集まる在宅療養ネットワーク会議及び在宅療養ネットワーク検討会（仮称）を立ち上げ、在宅医療関連事業に共通する課題等の抽出・解決を図る。	新規	○
地域の集まる場、機会を守り、若者・子どもと一緒に活動（孤独をなくし、元気に長生きの一番の秘訣）				
5	高齢者の社会参加の促進	高齢者の活躍の場を発掘する就労的活動支援コーディネーターの配置及びマッチングするためのツールとして社会参加促進システムを導入する。	新規	◎
6	ICT技術の活用による多世代交流を通じた介護予防事業の深化	・「e-スポーツ」や、オンラインを活用した交流など、年齢や体力差などの垣根を越えた多世代での交流を進めることで、社会参加・日々の活動量の増加を図る。 ・ICT技術を活用して他者との関わりを維持できる環境の構築を進めることで、高齢者の生活の質の向上を図る。	新規	◎

公約Ⅰ：「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ

具体の政策及び事業名			内容	事業区分	実施状況
7	地区活動センター等の利用促進環境整備事業		地区活動センターや地域交流活性化センターを快適に利用してもらうことで、多世代の居場所づくりにつなげることを目的とし、次のような環境整備事業を実施する。 ・エアコンの整備 ・オンライン予約システムの導入	新規	◎
	8	こども食堂支援事業	こども食堂の設置を支援し、こどもに対する地域の支援体制の強化を図る。	継続	◎
(2) 現役世代と共に創る「どこよりも子育てしやすい、暮らしたいまち盛岡」					
盛岡式給付型奨学金制度(返済無し・高校生・大学生)					
9	奨学金給付事業		市内の高校生・大学生を対象に、返還不要の奨学金を給付する。	新規	○
全小中学校完全給食無償化					
10	給食費無償化事業		・(小学校給食)国の制度設計を踏まえた上で、無償化の実施を目指す。 ・(中学校給食)「全員に同じ給食が提供される方式」による完全給食実現のため、新たな学校給食センターの整備を優先した取組を進めるとともに、無償化に向けた検討を進める。 ・学校給食の安定的な提供及び保護者負担額の軽減を図るため、学校給食食材費増額相当分の補助について検討する。	新規	○
第二子以降保育料無償(所得制限なし)					
11	第二子以降保育料無償(所得制限なし)		0歳児から2歳児の第二子以降の保育料について、無償化を実施する。	継続	◎
延長保育・病児保育の拡充・サポート					
12	延長保育・病児保育事業		・保育所等において、保育時間の延長を必要とする児童に対して延長保育を実施する。 ・病気回復期及び病気の回復期に至らない、保育を必要とする児童等に対して一時的に預かり保育を行う。	継続	◎
(3) 未来世代と共に創る「すべての子供たち1人ひとりに、等しく寄り添うまち盛岡」					
いじめゼロへ向け、市長部局に「いじめゼロ課」を設置					
13	こども相談事業		親にも先生にも相談できない悩みや困りごとを抱えるこどもたちの思いを受け止める窓口として、「こども相談室」を市長部局(子ども未来部)に設置する。	新規	◎

公約Ⅰ：「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ

具体の政策及び事業名			内容	事業区分	実施状況
		理解度・個性に応じて最適化した学習の実現			
	14	学力向上に向けたICT活用推進事業	・授業におけるGIGA端末の効果的な活用についての研修を実施する。 ・教員が安心して端末を使うためのICT支援員の配置の検討を進める。 ・AI型ドリルの活用	継続	◎
		不登校、長期入院、障がい等で登校できない児童生徒にそれぞれにあった最高の学び、多様な教育環境の整備			
	15	校内教育支援センター整備事業	・学校内において不登校や登校困難な児童生徒が安心して学び、社会的自立を目指すための居場所・学びの場を提供することを目的に各学校の校内教育支援センターの整備を進める。 ・教育支援センター「ひろばモリーオ」のスタッフによる各学校の校内教育支援センターの訪問等、アウトリーチ型の支援を推進する。	継続	◎
	16	教育相談体制整備事業	・担当指導主事や、「ひろばモリーオ」、教育相談室の教育相談員による相談体制を整備することにより、一人一人の子どもに寄り添う教育相談体制のさらなる充実を図る。 ・「ひろばモリーオ」にサテライト分室を設置し、支援の拡充を図る。	継続	◎
	17	スクールサポート事業	・通常の学級に所属する個別に配慮が必要な児童生徒を個別に支援するためのスタッフ（スクールアシスタント）の充実を図る。 ・児童生徒の障がい等に応じた学習支援アプリの導入について検討する。	継続	◎
		幼稚園・保育園職員定数を国基準より増員＋1			
	18	保育体制強化事業	保育士が保育業務に集中できる環境作りのため、私立保育所及び幼保連携型認定こども園に対し、保育に係る周辺業務を行う者（保育支援者）の配置の支援を行う。	継続	◎
	19	幼稚園職員定数の適正化事業	・市立幼稚園において、国基準の教諭定数を配置する。 ・市独自の保育補助員を配置する。	継続	◎
		先生方が先生にしかできない業務に集中できる環境創り			
	20	教員の働き方改革事業（教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）の増員）	教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）を配置し、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、専門的な知識や技能を要しない授業準備、採点業務や校内衛生等の業務を行うことで、教職員の負担を軽減する。	継続	◎
	21	教員の働き方改革事業（部活動指導員の増員）	中学校教職員の働き方改革として、部活動指導員を配置する。	継続	◎
	22	教員の働き方改革事業（統合型校務支援システムの導入）	教職員が行う成績処理等の多様な業務（成績処理、出欠管理、指導要録及び保健管理等）のICT化を図るため、岩手県で全県統一の導入を予定している「統合型校務支援システム」に参加する。	新規	◎

公約Ⅰ：「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ

具体の政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
(4) 私たち盛岡市民で共に創る				
	直営チームの徹底的な除雪(タクシー・バス・清掃職員・市民からの情報を一元化)			
23	道路除排雪事業(除排雪の強化)	道路除排雪の課題を徹底的に洗い出し、道路除排雪の改善を図る。	継続	◎
24	〃	道路除排雪の課題を徹底的に洗い出し、道路除排雪の改善を図る。	継続	◎
25	道路除排雪事業(雪の情報収集の強化)	・道路情報を確認するために設置しているカメラを高性能カメラに更新し、路面情報を的確かつ迅速に把握し、除排雪業者と情報の共有を行う。 ・除排雪コールセンターの開設により、情報収集の効率化と一元化を図る。	継続	○
26	〃	道路状況を把握するため、玉山地域の除雪路線にカメラとセンサーを設置する。	継続	○
27	道路除排雪事業(職員除雪、市民協働除雪の推進)	・職員除雪隊の活動の充実を図る。 ・町内会等に貸し出ししている小型除雪機の計画的な更新を行う。	継続	◎
28	除排雪車両の更新(玉山地域)	道路除排雪作業(直営)車両の計画的な更新を行う。	継続	◎
市長と全盛岡市民対象直接対話ミーティング・ランチ会、市長直通意見箱				
29	「もりもり」～市長と語ろう！もりおか盛り上げ座談会～	市長が市民の声を直接聴く場として、全盛岡市民対象直接対話ミーティング『「もりもり」～市長と語ろう！もりおか盛り上げ座談会～』を開催する。	新規	◎
30	市民の意見箱～市長への手紙～	市民からの意見や提案を幅広く聴く手段として、市長直通意見箱『市民の意見箱「市長への手紙」』を設置する。	新規	◎
行政デジタル化・効率化により、市民と直接対話できる部門への人員の充実				
31	行政DXの推進	「盛岡市行政DX推進計画(R3～7)」に定める3つの重点目標とそれぞれの施策に取り組み、デジタル技術やデータを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、業務効率化や生産性向上により生み出される人的資源を行政サービスの向上につなげていく。	継続	◎
32	web口座振替受付サービス導入事業	現在紙様式で受け付けている口座振替申込のうち、新規申込についてweb受付する環境を整備し、市民の利便性の向上を図り、以て収納率の増加及びコストの削減を図る。	新規	◎

公約Ⅰ：「より優しく」誰ひとり取り残さないまちへ

具体の政策及び事業名			内容	事業区分	実施状況
		ミニバス・AIオンデマンドタクシー・自動運転を見据えた公共交通の整備			
		33	【再掲：公約1】巡回ミニバス(コミュニティバス)事業 (AIオンデマンドタクシーの導入)	公共交通空白地区などにおいて、乗合タクシー(AIオンデマンドタクシー)を導入する。	新規 ○
		34	自動運転による地域公共交通実証事業	生活に必要な移動を支える公共交通網の形成を目指し、公共交通空白地等における移動手段の一つとして、自動運転バスなどの調査検討及び実証実験等を行い、新技術の活用を図る。	新規 ○
		自転車専用道路整備事業			
		35	自転車走行空間整備事業	自家用車利用を抑制しつつ、自転車の利用促進を図るため、自転車利用者が安全で快適に走行できる環境を整備する。	継続 ◎
		市長退職金(1期4年分)約3,160万円 全額カット			
		36	市長の退職手当の不支給	市長の今任期に係る退職手当を支給しないこととするもの。	新規 ◎

公約Ⅱ:「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体的政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
2 「より強い」地元経済が元気なまちへ				
(1) 地元商店・地元企業の徹底的支援、雇用の場を創る				
	地元の企業の売り上げ・利益アップ～地元上場企業＋3社、新起業4年間で1,000社			
37	商業振興事業	・企業サポート専門員を配置し、経営支援を行うことで企業の経営力強化を支援する。 ・本市の主要産業である「商業・サービス業」の活性化を図るため、その魅力を伝える機会の確保を図る。 ・中心市街地から消費の活性化を図るため、商店街や中心市街地活性化活動団体が実施する消費喚起型のイベント開催などを支援する。 ・MORIOペイアプリを利便性の高いアプリへブラッシュアップを図る。	継続	◎
38	工業振興事業	企業サポート専門員が市内企業等を訪問することで、企業ニーズの把握に努めるとともに、各種支援策への取り次ぎを推進する。	継続	◎
39	地場・伝統産業振興事業	・市の特産品や産業などを宣伝・紹介する物産展等を開催する。 ・盛岡ブランド品認定制度による特産品の競争力の強化を図る。	継続	◎
40	工業振興事業	製造業及び情報サービス業の振興と発展を図るため、製造業等事業者等で構成する団体が国外の展示会や見本市への出展に要する経費の一部を支援する。	継続	◎
41	工業用地確保推進事業	「第2期盛岡市工業振興ビジョン」で課題としている「用地の不足、工業の集積への取組」に対応するため、専門機関の知見を活用し、新たな工業用地の選定や候補地ごとの課題整理、企業誘致活動の強化に取り組む。	新規	◎
42	地域企業株式上場支援事業	株式上場企業を増加させ、市内での雇用の場を創出・拡大することを目的として、株式上場を目指す市内の企業に対し、上場申請に向けた必要経費を支援する補助金を交付する。	新規	○
43	起業家支援事業	・起業家塾、創業機運醸成イベント及び盛岡地域ビジネスプランコンテストを開催する。 ・産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画の盛岡広域8市町、域内支援機関との共同策定と計画実施における連携 ・創業起業融資を実施する。 ・ふるさと起業家支援プロジェクト補助金を実施する。 ・起業家のコミュニティ形成への支援を行う。 ・市の広報媒体を利用した起業家のPR支援を実施する。	継続	◎
44	産業支援センター管理運営事業	盛岡市産業支援センターの管理運営により、市内で創業しようとする者や市内で事業を営む者の事業活動を支援する。	継続	◎

公約Ⅱ：「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体の政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
		スタートアップ支援、創業起業融資、経営サポート3年		
45	商業・サービス業起業・創業支援事業	中心市街地の空き店舗を活用し、起業や創業を支援するための補助制度(まちなか空き店舗活用促進事業)を創設する。	継続	○
46	成長分野拠点形成支援事業	・「TOHOKUライフサイエンススタートアップファンド」への出資による世界的なヘルステック拠点形成やヘルステック産業集積を拡大、ベンチャー企業創出の支援を行う。 ・市民の健康寿命の延伸等を目的としたヘルスケア産業の創出及び育成支援を行う。 ・フォーラム等の開催、インターンシップ等の実施によるヘルステック産業の認知度向上、高度人材や起業人材の育成、若者の地元定着の推進を行う。	継続	◎
47	地域企業成長加速支援事業	地域を先導するロールモデルのスタートアップ企業を認定し、それらを目指す地域の新興企業・中堅企業の成長事業を専門家等の支援を受けることで、スタートアップ企業の成長を促すとともに、スタートアップの集積を図る。	継続	◎
48	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業	起業家向け短期集中型プログラミング合宿「スパルタキャンプ」を県内の他自治体(八幡平市、平泉町)の横展開により実施し、起業を志す者に対するデジタル技術・起業ノウハウの養成により高度IT人材の育成及び起業マインドの醸成を行う。	新規	◎
49	【再掲:43】起業家支援事業	・起業家塾、創業機運醸成イベント及び盛岡地域ビジネスプランコンテストを開催する。 ・産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画の盛岡広域8市町、域内支援機関との共同策定と計画実施における連携。 ・創業起業融資を実施する。 ・ふるさと起業家支援プロジェクト補助金を実施する。 ・起業家のコミュニティ形成への支援を行う。 ・市の広報媒体を利用した起業家のPR支援を実施する。	継続	◎
50	【再掲:46】成長分野拠点形成支援事業	・「TOHOKUライフサイエンススタートアップファンド」への出資による世界的なヘルステック拠点形成やヘルステック産業集積を拡大、ベンチャー企業創出の支援を行う。 ・市民の健康寿命の延伸等を目的としたヘルスケア産業の創出及び育成支援を行う。 ・フォーラム等の開催、インターンシップ等の実施によるヘルステック産業の認知度向上、高度人材や起業人材の育成、若者の地元定着の推進を行う。	継続	◎
51	【再掲:44】産業支援センター管理運営事業	盛岡市産業支援センターの管理運営により、市内で創業しようとする者や市内で事業を営む者の事業活動を支援する。	継続	◎
52	【再掲:38】工業振興事業	企業サポート専門員が市内企業等を訪問することで、企業ニーズの把握に努めるとともに、各種支援策への取り次ぎを推進する。	継続	◎

公約Ⅱ：「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体的政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
		若者の定着定住をサポート、企業誘致、企業支援、上場支援、雇用・所得上昇施策		
53	移住・定住・交流人口対策事業	・東京圏の若者や潜在的な移住・交流ニーズに対応した効果的な情報や魅力の発信を行い、若年層の人口還流を促進する。 ・高校生等に対する探究学習支援や出前講座を通じ、愛郷心や盛岡で働くイメージの定着を図り、若者の地元定着や移住・定住を促進する。	継続	◎
54	若者の就業支援事業	・新規学卒者・若年未就職者に対する相談支援、若年無業者に対する就労的自立への支援を実施する。 ・高校生を対象としたインターンシップ事業、地元企業情報の発信事業、若手社員の職場定着に関する事業などを通じて若者のキャリア形成・地元定着に向けた取組を行う。 ・高校生向けキャリアデザインプログラムの実施及びキャリアサポート専門員の配置により、若者と地元企業をつなぐ取組を強化する。	継続	◎
55	【再掲：48】AI・IoTプラットフォーム事業	起業家向け短期集中型プログラミング合宿「スパルタキャンプ」を県内の他自治体（八幡平市、平泉町）の横展開により実施し、起業を志す者に対するデジタル技術・起業ノウハウの養成により高度IT人材の育成及び起業マインドの醸成を行う。	新規	◎
56	AI・IoTプラットフォーム事業	・盛岡広域に集積するIT関連企業の技術と、製造業等のAI・IoTニーズをマッチングし、新技術にチャレンジする実証実験を行う場を設置する。 ・モデル企業の実証実験への支援とともに、IT・製造業等の異業種のネットワーク化を推進し、産業の高度化・高付加価値化を図り、高度IT人材の地元定着を推進する。	継続	◎
57	道明地区新産業等用地整備事業	製造業や研究開発系企業の集積を図るとともに、地場産業の業務拡張のための用地を確保し、新たな雇用の場を創出するため、盛岡市新産業等用地整備計画に基づき、盛岡の新たな「ものづくり拠点」として産業等用地を整備する。	継続	◎
58	盛岡南地区物流拠点整備事業	産業を下支えする基盤産業である物流機能の強化、充実に取り組むことにより、産業全般のさらなる活性化を目指すとともに、本市への企業誘致をさらに推進し、新たな雇用創出を図るため、盛岡南地区物流拠点整備基本計画に基づき、民間事業者主体により盛岡南地区に「物流拠点」を整備する。	継続	◎
59	盛岡駅西口複合施設整備調査事業	産業構造の域外市場産業へのシフトと、産業間連携による既存の地域企業の生産性向上の実現に向け、盛岡駅西口地区の市有地と隣接する東日本旅客鉄道株式会社の用地を合わせ、民間投資による複合施設整備に係る調査を実施する。	新規	◎
60	【再掲41】工業用地確保推進事業	「第2期盛岡市工業振興ビジョン」で課題としている「用地の不足、工業の集積への取組」に対応するため、専門機関の知見を活用し、新たな工業用地の選定や候補地ごとの課題整理、企業誘致活動の強化に取り組む。	新規	◎
61	商工団体育成事業、中小企業振興事業	・盛岡商工会議所、岩手県中小企業団体中央会の中小企業支援策を推進する。 ・企業サポート専門員を配置し、経営支援を行うことで企業の経営力強化を支援する。 ・中小企業者の人材育成を図るため、中小企業大学校等の受講の促進を図る。 ・中小企業振興基本条例の制定について検討する。	継続	◎
62	【再掲：38】工業振興事業	企業サポート専門員が市内企業等を訪問することで、企業ニーズの把握に努めるとともに、各種支援策への取り次ぎを推進する。	継続	◎
63	【再掲：42】地域企業株式上場支援事業	株式上場企業を増加させ、市内での雇用の場を創出・拡大することを目的として、株式上場を目指す市内の企業に対し、上場申請に向けた必要経費を支援する補助金を交付する。	新規	○
64	専門人材による中小企業の課題解決支援事業	企業サポート専門員による企業訪問等により、企業の抱える課題と支援ニーズを把握し、支援機関とのマッチングを図るなど、必要な支援につなぐことで、企業の成長の後押しを行う。	新規	◎

公約Ⅱ:「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体的政策及び事業名			内容	事業区分	実施状況
	65	【再掲:41】工業用地確保推進事業	「第2期盛岡市工業振興ビジョン」で課題としている「用地の不足、工業の集積への取組」に対応するため、専門機関の知見を活用し、新たな工業用地の選定や候補地ごとの課題整理、企業誘致活動の強化に取り組む。	新規	◎
	66	盛岡テクノミュージアム設置事業	市内の工場等を盛岡テクノミュージアムとして指定し、工場見学の受入態勢の整備やテクノミュージアムを紹介するポスターを作成・配布することなどにより、企業の情報発信力を高めるとともに、雇用確保、地元定着を図る。	継続	◎
(2)盛岡ブランドを世界に発信し外貨獲得					
	今年行くべき52都市の2番目、歩いて楽しめる盛岡の魅力発信、農畜産物ブランド化を推進し国内外へ徹底アピール				
	67	外国人観光客等受入態勢整備・誘客プロモーション事業	・観光客受入態勢の整備・拡充や、東南アジア・東アジア地域での積極的なプロモーション活動を実施する。 ・高付加価値を意識した旅行商品の造成を行う。 ・観光DXを推進し、データに基づいた効果的な情報発信や戦略的な施策の展開を図る。	継続	◎
	68	食と農のバリューアップ推進事業	盛岡産農畜産物の高付加価値化と需要拡大に向けて、「第2期もりおか食と農バリューアップ推進戦略」に基づき、販路の維持・強化や啓発、地域内外での各種プロモーション、異業種連携支援に取り組む。	継続	◎
	69	「美食王国もりおか」イノベーション推進支援事業【新規】	盛岡産農畜産物の地産地消と、ブランド化・高付加価値化による外貨獲得を目的に盛岡産農畜産物をテーマにした商品・サービスの開発(販売促進等を含む)や事業体制の構築などに対し、補助金を交付する。	新規	◎
	盛岡城、仙北町の廻船問屋など江戸時代から昭和の賑わい、原敬・新渡戸稲造・石川啄木等の偉人ゆかりの地をVRで表現				
	70	盛岡城跡保存整備事業	「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、盛岡城跡の見学・散策のためのAR・VR等による「解説システム」の整備について検討を進める。	継続	○
	71	もりおか歴史文化館を中核とした文化観光推進事業	博物館展示・収蔵資料のデジタルアーカイブ化やキャッシュレス決済、VRやAR等の活用等、文化財の新しい活用方策と観光振興とを関連させながら、施設利用者等の来訪促進に取り組む。	新規	○
	72	VRによる観光魅力体験事業	VRについて、他自治体の先進事例を研究するとともに、訪れる人が盛岡の魅力をもっと強く体感できる演出の在り方について検討する。	新規	○
	店舗、点字メニュー、簡易スロープ等の助成、男子トイレおむつ台設置、公衆トイレ他まちのユニバーサル化				
	73	商業・サービス業ユニバーサル調査研究事業	商業・サービス業事業者を対象に、ユニバーサル化の状況を調査しながら、必要な支援策について調査研究を行う。	新規	○
	74	都市公園整備事業	・現在、国の事業認可を受けて整備している中央公園、岩山公園において、トイレ整備を実施する。 ・盛岡城跡公園においては、市において国の交付金等を活用しながらトイレの移設整備を実施する。	継続	◎

公約Ⅱ：「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体の政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
(3)民間主導の公民連携を推進				
	経営者としての実績、サラリーマンの経験と一市民としての感覚で盛岡市に経営感覚を			
75	サウンディング型市場調査推進事業	事業の実施に当たり、民間事業者と個別に対話しながら、事業者の持つノウハウやアイデアを聴き取ることで、民間事業者が効果的に能力を発揮できる事業スキームの構築に活用する。	継続	◎
76	繫小学校跡地利活用事業	令和3年度で閉校した繫小学校について、地域住民とともに繫地区の活性化を目指す拠点として利活用を図る。	新規	◎
	行政は民間が力を発揮できる環境整備に注力			
77	もりおかPPPプラットフォーム推進事業	・公共施設マネジメントに公民連携手法を取り入れた事業展開を促進するため、市と金融機関・商工会議所・建設業協同組合をコアメンバーとして設置した「もりおかPPPプラットフォーム」の運用を行う。	継続	◎
(4)持続可能なまち創りを推進				
	高齢者ボランティア活動ポイント事業 …子ども食堂・託児・部活動・町内会関連・教育関連ボランティア活動に市内で使えるポイントを付与			
78	高齢者の社会参加の促進	就労的活動を行う高齢者に対して、ボランティア活動ポイントを付与する事業を検討する。	新規	○
79	地域活動ポイントの導入	高齢者を含め市民の地域活動に応じて、地域活動ポイントを付与する事業を検討する。	新規	○
	公共施設を利用した再生可能エネルギー事業、EV車スタンド設置、エネルギーの地産地消			
80	地球温暖化対策実行計画推進事業	市の気候変動対策実行計画に基づき、クリーンエネルギー自動車の導入促進、市有施設への再エネ導入等に取り組む。	継続	◎
	農林業担い手の育成支援、地産地消の推進			
81	新規就農支援事業	新規就農者の確保と担い手の育成のため、農業を始めようとする人を対象に就農相談を行うとともに、国の新規就農者育成総合対策や盛岡市単独の親元就農給付金制度を活用した支援を実施する。	継続	◎
82	経営体育成支援事業	地域計画の早期実現に向けて、地域の中核となる担い手が経営改善に取り組む場合に必要な農業用機械・施設の導入を支援する。	新規	◎

公約Ⅱ：「より強い」地元経済が元気なまちへ

具体の政策及び事業名			内容	事業区分	実施状況
	83	農地中間管理事業	農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構を設立し、機構が担い手への農地集積と集約化を支援することで、農業の競争力強化のために不可欠な農業構造の改革と生産コストの削減を目指す。 ・農地中間管理事業 ・機構集積協力金 ・地域計画の策定	継続	◎
	84	地域みらい農業人材支援事業	農業を担う者の営農維持・発展を図るため、国等の支援事業の対象とならない農業用機械や施設等の更新・導入経費を支援する。	新規	◎
	85	林業労働対策事業	・中学生・高校生等を対象に林業及び関連業務の仕事の内容・魅力を伝え、早期離職の未然防止や労働力確保に向けた取組を進める。 ・林業事業体の施業能力・経営体力の向上を図るため、林業雇用支援事業を実施する。	継続	◎
	86	木育推進事業	市民や児童に対し、森林整備、資源循環、自然環境保全等に関する教育・啓発活動を行うとともに、地域の木材の良さを体感してもらい、市産材の更なる活用を推進する。	新規	◎
	87	【再掲：68】食と農のバリューアップ推進事業	盛岡産農畜産物の高付加価値化と需要拡大に向けて、「第2期もりおかの食と農バリューアップ推進戦略」に基づき、販路の維持・強化や啓発、地域内外での各種プロモーション、異業種連携支援に取り組む。	継続	◎
	88	【再掲：69】「美食王国もりおか」イノベーション推進支援事業	盛岡産農畜産物の地産地消と、ブランド化・高付加価値化による外貨獲得を目的に盛岡産農畜産物をテーマにした商品・サービスの開発（販売促進等を含む）や事業体制の構築などに対し、補助金を交付する。	新規	◎
	89	市産材利用拡大推進事業	森林資源の循環を促進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、市産材の利用拡大を図る。	継続	◎
	90	住宅・店舗の木質化補助等	市産材利用と木材需要拡大を推進するため、盛岡市内の住宅や商業店舗の新築・増改築・リフォームに要する経費に対して補助金を交付する事業を実施する。	継続	◎

公約Ⅲ：盛岡の各地域の歴史や特色を守りつなぐ➤ネットワークシティの実現

具体の政策及び事業名		内容	事業区分	実施状況
3 盛岡の各地域の歴史や特色を守りつなぐ➤ネットワークシティの実現				
		医大跡地は、容積率の緩和等を検討し、盛岡のシンボルとして活用		
91	内丸地区再整備事業	「内丸プラン（内丸地区再整備基本計画）」の策定を踏まえ、検討を進める。	継続	◎
		内丸地区の再開発により、盛岡駅から河南地区までの地域を中心市街地の軸として形成		
92	中心市街地活性化つながるまちづくりプラン推進事業、タウンマネージメント機関支援事業	・中心市街地活性化つながるまちづくりプランの推進を推進する。 ・人流・交通分析システムのデータを活用した商店街・事業者支援を促進する。 ・商店街等が実施する消費喚起型のイベント開催などを支援する。 ・中心市街地の空き店舗を活用し、起業や創業を支援するための補助制度を創設する。	継続	◎
93	【再掲32】：内丸地区再整備事業	「盛岡市新市庁舎整備基本構想」を踏まえ、「内丸プラン（内丸地区再整備基本計画）」の策定を進める。	継続	◎
94	肴町地区優良建築物等整備事業	市街地環境の整備改善、市街地における良好な住宅の供給等に資するため、事業費の一部に対し補助を行う。	新規	◎
		一極集中ではなく、都南・玉山等各地域の伝統・文化を大切にITの力を使いながら地域を結んでいく		
95	【再掲25-2】もりおか歴史文化館を中核とした文化観光推進事業	博物館展示・収蔵資料のデジタルアーカイブ化やキャッシュレス決済、VRやAR等の活用等、文化財の新しい活用方策と観光振興とを関連させながら、施設利用者等の来訪促進に取り組む。	新規	○